

野田市教育委員会定例会会議録

- ◇日 時 令和3年3月24日（水）午後1時30分開会 午後2時50分閉会
- ◇場 所 野田市役所高層棟5階511、512会議室
- ◇出席委員 佐藤裕教育長 高橋保教育委員 伊藤稔教育委員 飯田芳彦教育委員 永瀬大教育委員
- ◇説明職員 山下敏也教育次長（兼）生涯学習部長 戸塚進教育総務課長 安藤剛行生涯学習課長 桑村典子青少年課長（兼）青少年センター所長 横島司興風図書館長 船橋高志学校教育部長 下川泰弘学校教育部次長（兼）学校教育課長 山田桂一指導課長

- ◇書 記 鈴木一敏教育総務課長補佐（兼）庶務係長

◇付議事件

- (1) 学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱について
- (2) 野田市公民館長の任命について
- (3) 野田市教育委員会事務局職員の人事異動について

◇教育長の報告事項

- ・教育総務課
 - (1) 寄附について
- ・学校教育課
 - (1) 令和2年度末教職員人事異動の概要報告について
 - (2) 新型コロナウイルス感染症の対応について
 - (3) 教職員等の表彰関係について
- ・指導課
 - (1) 令和3年度研修体制一覧（案）について
 - (2) 令和2年度教育委員会と東京理科大学とのパートナーシップ協定に基づく連携事業に関する実施報告について
 - (3) 令和2年度教育奨励賞顕彰被表彰者について
 - (4) 関宿郷土パンフレットについて

◎佐藤教育長

ただいまから、令和3年3月教育委員会定例会を開会します。
書記。

◎書記

開会に当たり、一点報告させていただきます。高橋委員の教育委員の任期が3月31日で満了となりますが、3月議会におきまして再任されましたので御報告いたします。

◎佐藤教育長

高橋委員、改めてよろしく申し上げます。
それでは、会議を始めます。
本日の会議録署名委員を伊藤委員にお願いします。
(伊藤委員了承)

◎佐藤教育長

会議録承認の件に入ります。令和3年2月定例会の会議録について、事前に資料を配付しているところですが、御意見等ございますか。
御異議ございませんでしょうか。

◎全委員

(異議なし)

◎佐藤教育長

御異議なしと認め、会議録につきましては、承認します。
次に、会議次第に従い議題に入ります。
議案審議に入る前に、本日配布資料のとおり議案第3号 野田市教育委員会事務局職員の人事異動についてが、追加議案として提示されました。
本日の議案として追加し、会議を進めたいと考えますが、よろしいでしょうか。

◎全委員

(異議なし)

◎佐藤教育長

また、議案第3号は、個人に関する情報ですので、非公開により会議を進めたいと考えますが、いかがでしょうか。

◎全委員

(異議なし)

◎佐藤教育長

御異議がございませんので、そのようにいたします。
なお、会議の進行上、議案第3号は、教育長の報告事項終了後に審議することにいたします。
それでは、議案第1号を議題とします。
議案第1号につきましては、永瀬委員の自己に関することが含まれておりますので、永瀬委員には一時退席をお願いしたいと思います。
暫時休憩します。
(永瀬委員退席)

◎佐藤教育長

再開します。
書記をお願いします。
(書記議案朗読)

◎佐藤教育長

事務局から説明をお願いします。
学校教育課長。

◎下川学校教育課長

議案第1号 学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱について、提案理由を御説明申し上げます。資料は、1ページから8ページです。

令和元年度に委嘱してから2年がたちましたので、改めて医師会、歯科医師会、学校薬剤師会から推薦いただいた方々を学校医、学校歯科医、学校薬剤師として委嘱するものです。学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱については、野田市立小学校及び中学校管理規則の第5条において、教育委員会が委嘱するとあり、また、配置人数については、野田市立小中学校学校医、学校歯科医等配置要項に基づいた人数によって配置されております。

今回の委嘱ですが、学校医は、内科31名、眼科5名、耳鼻科4名、学校歯科医は38名の医師に委嘱いたします。また、学校薬剤師は、21名の薬剤師に委嘱いたします。

なお、委嘱期間は、令和3年4月1日から令和5年3月31日までの2年間となります。よろしく御審議の上、御決定賜りますようお願い申し上げます。

◎佐藤教育長

事務局から説明がありました。
御質問、御意見等がありましたらお願いします。
(なしの声)

◎佐藤教育長

なければ、議案第1号についてお諮りします。
議案第1号について、原案のとおり可決することに御異議ありませんか。

◎全委員

(異議なし)

◎佐藤教育長

御異議なしと認めます。
よって、議案第1号は、原案のとおり可決されました。
永瀬委員を入室させてください。
暫時休憩します。
(永瀬委員着席)

◎佐藤教育長

再開します。
議案第1号は、原案のとおり可決しましたことを報告します。
次に、議案第2号を議題とします。
(書記議案朗読)

◎佐藤教育長

事務局から説明をお願いします。
生涯学習課長。

◎安藤生涯学習課長

議案第2号 野田市公民館長の任命について御説明申し上げます。資料の9ページから11ページでございます。

本案は、中央公民館を除く公民館の館長が令和3年3月31日をもって任期満了となる

ことから、社会教育法第 28 条の規定により、令和 3 年 4 月 1 日付けで公民館長を任命しようとするものでございます。新たに公民館長に任命しようとするのは、東部公民館の水沢栄光氏、関宿中央公民館の竹澤豊則氏、二川公民館の金子隆氏、木間ヶ瀬公民館の松原操氏の 4 名で、その他の 5 名は再任しようとするものでございます。なお、中山武志氏は、二川公民館から福田公民館に配置換えをしております。

公民館長につきましては、会計年度任用職員として任用することから、任期は 1 年となります。

説明は、以上でございます。

よろしく御審議の上、御決定賜りますようお願い申し上げます。

◎佐藤教育長

ただいま、事務局から説明がありました。

御質問、御意見等がありましたらお願いします。

(なしの声)

◎佐藤教育長

なければ、議案第 2 号についてお諮りします。

議案第 2 号について、原案のとおり可決することに御異議ありませんか。

◎全委員

(異議なし)

◎佐藤教育長

御異議なしと認めます。

よって、議案第 2 号は、原案のとおり可決されました。

次に、教育長の報告事項に入ります。

報告事項に対する質問につきましては、報告事項の説明終了後に一括してお受けしたいと思います。

教育総務課からお願いします。

教育総務課長。

◎戸塚教育総務課長

教育総務課から、小学校への寄附につきまして御報告いたします。

野田市木間ヶ瀬 3,772 番地 株式会社関宿急便代表取締役 鶴岡等様より、木間ヶ瀬小学校の教育活動の充実のためとして、指導者用パソコンデスク 10 台、合計 14 万円相当を頂きました。御寄附につきましては、6 月議会市政一般報告で報告いたします。

以上でございます。

◎佐藤教育長

次に、学校教育課からお願いします。

学校教育課長。

◎下川学校教育課長

学校教育課所管の事業について、2 点報告をさせていただきます。

初めに、令和 2 年度末教職員人事異動の概要報告についてです。8 ページを御覧ください。

最初に、管理職関係について申し上げます。校長の退職 9 名で、小学校で 5 名、中学校で 3 名、合計 8 名が定年により退職いたします。1 名については、千葉県教育委員会への異動となります。校長欄を見ますと、新任校長は 8 名となります。内訳は、小学校の新任校長は、市内小学校教頭からの昇任が 3 名、県教委からの昇任が 1 名、市教委か

らの昇任が1名、中学校の新任校長は、県教委から1名、市教委から1名、他市からの帰還に伴う昇任が1名となります。

次に、教頭ですが、新任教頭6名となります。内訳は、小学校の新任教頭は、市内小中学校教諭からの昇任が2名、県教委からの昇任が2名、中学校の新任教頭は、県教委から1名、市教委から1名の昇任となります。

次に、一般職員ですが、行政等への異動も含む退職者ですが、小学校の主幹教諭1名、教諭16名、養護教諭1名、主事1名、中学校は、主幹教諭2名、教諭11名、養護教諭1名で合計33名となります。そのうち、定年退職は24名、勸奨退職2名、若年退職5名、行政等への異動が2名となります。

また、新規採用教職員ですが、小学校が19名、中学校が18名、計37名で、昨年度46名の採用でしたので、9名の減少となっております。

市間交流につきましては、小中学校の合計で市外転出者が24名、市外からの転入者が22名、管外や県立学校への転出が9名、管外や県立学校からの転入が5名と、転出入者はともに減少しております。

なお、正規教職員での補充ができない学校につきましては、欠員補充の講師等を配置し、さらに、産休育休等につきましては代替を補充し、必要な配置をしております。

また、女性管理職の登用についてですが、今年度女性管理職が16名おりました。来年度は1名減り、15名となる予定です。今後も女性管理職の登用については、本市の重点項目として積極的に取り組んでまいります。

令和2年度末管理職人事異動では、東葛管内で教頭の不足が取り上げられております。喫緊の課題として、次期管理職の育成を市教育委員会と校長会で教育する必要があると思っています。年代構成においては、40代の教職員が手薄であるため、次期リーダー層の育成が急務になっております。30代後半からの人材育成も視野に入れ、計画的な人材育成に取り組んでまいります。

◎佐藤教育長

学校教育部長。

◎船橋学校教育部長

今、学校教育課長の方から人事の概要について御説明いたしましたが、私の方からは、管理職について、追加ということで御説明させていただきたいと思っております。

これは、令和3年度野田市小中学校校長教頭名簿内示という段階ですので、新聞発表までは一応内示ですので、この後の変更があり得るということで、御承知願いたいと思っております。

今年度は、先ほど説明していただいたとおり、校長については8名定年退職、1名が県の教育委員会、具体的に申しますと、東葛飾教育事務所の方に異動となります。

その関係で9名が新たに昇任及び再任となっております。

その中で、本教育委員会からも、指導課長、そして、指導課主幹が校長として昇任、そして、私の方が校長として再任となっております。

なお、来年度につきましては、校長の中で最年少は49歳。教頭最年少は42歳の予定となっております。今後も、若年化が進んでくるのではないかと考えられます。

私からは、以上です。

◎佐藤教育長

学校教育課長。

◎下川学校教育課長

次に、新型コロナウイルス感染症の対応について御報告申し上げます。

3月12日に中央小学校で、父親の陽性により濃厚接触者としてPCR検査を受けた児童が陽性と判明し、学校は3月13日と14日の2日間を臨時休業とし、13日に保健所の協力により児童19人と教職員11人の合計30名がPCR検査を受け、13日午後全員が陰性と判明しました。また、市独自の業者による消毒作業は、同日午後1時から3時に行いました。

教育委員会は、PCR検査の結果と消毒作業が終了したことから、児童の安全が確保されたと判断し、15日に学校を再開しました。

3月21日には、緊急事態宣言が解除されましたが、1年前の緊急事態宣言よりも感染者数等の状況は悪く、報道機関からはリバウンドへの対応が叫ばれており、解除後も感染拡大防止に最大限取り組む必要があります。そこで、市教育委員会では、教育長名で学校と保護者に、春休みの過ごし方について、通知文を配付し、新年度の始業式や入学式を始め多くの行事が行えるように、春休み中の新型コロナウイルス感染拡大防止に更に御理解と御協力をいただきますよう通知をしたところです。

また、教職員の気の緩みで、学校から陽性者が出ないよう学校を指導し、教職員に協力を依頼するところです。教育委員会としては、児童生徒の安全を第一に考え対応してまいります。

2点目、最後に教職員等の表彰関係について報告申し上げます。資料はありません。

これまでの功績が評価され、野田市教職員3名が、教育事務所長顕彰を受賞されました。今年度受賞されたのは、みずき小学校河野明子教諭、二川中学校千葉乃里子教諭、南部小学校工藤基義教諭の3名です。質の高い、きめ細やかな教育実践が評価されています。野田市の財産として、中堅、若手の教員の育成に役立てたいと考えております。

学校教育課の報告は、以上です。

◎佐藤教育長

次に、指導課からお願いします。

指導課長。

◎山田指導課長

指導課より4点御報告申し上げます。

初めに、令和3年度野田市研修体制一覧(案)について御報告申し上げます。資料は、1ページからになります。

今年度は、新型コロナウイルスの関係で、教職員の研修は、県主催、市主催ともに、中止やオンラインでの実施など大幅な変更を余儀なくされました。未だに終息が見えない状況ではありますが、令和3年度の研修につきまして一覧にまとめました。今年度の経験を生かし、書面に代えられるもの、オンラインでできるもの、回数や時間を短縮できるものなどを考慮し計画いたしました。

また、令和3年度は、既に運用が始まっておりますGIGAスクール構想に伴う、教職員のICT運用能力向上を目指す各種ICT活用研修、また、いじめ問題対策委員会よりいただいたいじめや自殺の再発防止に向けた提言を受けて、いじめ早期発見のための研修、SOSの出し方教育に関わる研修など、子供の変化を見逃さないための研修などの充実を目指してまいります。

次に、資料の5ページ、令和2年度教育委員会と東京理科大学とのパートナーシップ協定に基づく連携事業について御報告申し上げます。資料は、パートナーシップ協定の連携事業の特別授業・研究室訪問の実施一覧になります。

今年度は、やはり新型コロナウイルスの影響で東京理科大学の学生さんもオンラインで講義を受けるなど、例年のように大学を訪れて、また、逆に各小中学校に来ていただいている特別授業・研究室訪問は難しい状況でした。しかし、こういう状況にもかかわらず、理科大学の皆さんに、オンラインでの特別授業を実施していただくなど工夫していただきながら資料の一覧のとおり実施していただくことができました。

一方、教職員の研修講座につきましては、小中学校の夏休みの短縮などもあり、今年度は中止となりました。コロナ禍のこういった状況にもかかわらず、子供たちのためにお力添えいただいた東京理科大学の皆さんには、大変感謝しております。

続いて、令和2年度千葉県教育奨励賞顕彰被表彰者について御報告申し上げます。資料は、6ページになります。

今年度、教職員の部において、第一中学校の仁木達哉教諭が学校運営の推進、若年層教員の育成などを評価され、教育奨励賞顕彰を受賞いたしました。また、児童生徒の部において、南部中学校の吹奏楽部が、昨年度の第47回マーチングバンド全国大会での金賞が認められ、同様に教育奨励賞顕彰を受賞いたしました。なお、今年度の授賞式は、新型コロナウイルスの影響で中止となりました。

また、昨年度、教育奨励賞顕彰を受賞した関宿中央小学校、新井直子教諭が、令和2年度文部科学大臣優秀教職員表彰を受賞し、南部小学校、多々納絵里教諭が、経験年数10年未満の教職員を対象とした若手教職員等奨励賞を受賞いたしましたので、併せて御報告申し上げます。

次に、関宿郷土パンフレットについて御報告いたします。資料は、7ページになります。

この関宿郷土パンフレットは、関宿小学校の4年生児童25名が作成したものです。昨年3年生での総合的な学習の時間において、鈴木貫太郎翁をテーマに学習を進めておりましたが、コロナの関係で、最後のまとめができませんでした。そこで、今年度は引き続き社会科の時間を一部使い、更に学習の幅を広げ、地域の方に直接聴き取りをしたり、写真を撮影するなど情報を集め、整理・分析し、資料のようなパンフレットにまとめました。今回作成したパンフレットは、ほかの学年に配布したほか、市役所や商工会議所にも置かれます。部数に限りがありますが、関宿小学校のホームページでもダウンロードできるほか、子供たちによる記載内容の音声案内も聴くことができます。このパンフレットが、関宿の魅力を再発見する一助になればと考えています。

指導課からは、以上でございます。

◎佐藤教育長

報告事項がありましたらお願いします。

ただいまの報告につきまして、御質問、御意見等がありましたらお願いします。

飯田委員。

◎飯田委員

コロナウイルスの関係で先ほど御説明いただいたんですが、前にもお伺いしたんですが、実際にかかってしまった児童生徒さんについて、孤立とか、いじめとか、現状はどうなんでしょうか。少し心配しているんですが、その辺は大丈夫ですか。

◎佐藤教育長

学校教育課長。

◎下川学校教育課長

陽性になってしまった場合には、当然保健所の指導、病院の指導で何日まで自宅観察

期間ということはありません。それを受けて、この中央小の児童については、昨日と本日、登校しております。日曜日までは観察期間で、月曜日はちょっと体調が悪くて休んだんですが、23、24日は登校して、その状況を確認したところ、特に孤立することもなく、いつもどおり陽性になる前の学校生活と同じ状況であったというふうに教頭から聞いております。また、引き続き、いじめとかそういうことが起こらないように、学校では道徳の授業等を使って指導していただいておりますので、教師の目も、やはり陽性になった、濃厚接触で休んでいた子とか、そういう状況を把握しておりますので、目配り、気配りをしながら対応しているところです。

以上でございます。

◎佐藤教育長

飯田委員。

◎飯田委員

ありがとうございます。やはりメンタル的なものが一番心配なので、いろいろコミュニケーションを図っていただいて、ここから先も明るく元気に励めるよう配慮していただければ、非常に有り難いというふうに思います。よろしくお願いします。

◎佐藤教育長

高橋委員。

◎高橋委員

教育委員会として、校長先生方、あるいは教頭先生でも構いませんが、児童生徒から感染が出た場合、どういうふうに扱うかということについての具体的な指導はされているのでしょうか。あるいは学校任せになっているのでしょうか。

◎佐藤教育長

学校教育部長。

◎船橋学校教育部長

感染が起きた場合については、まず学校から一報が入ります。それをもってどうしていくかというのは、こちらの職員を派遣しまして、連絡を取りながら進めさせていただいております。例えば、我々が仲介して保健所と連絡を取って、濃厚接触者は誰なのか、それに伴って、PCR検査はどこがやるのか、業者の消毒はどうするのかということ、学校と一緒に相談しながら進めていく。ただ、時間が限られておりますので、とにかく迅速にということ念頭に、連絡を取り合いながらやっております。

子供たちの指導については、基本的には濃厚接触者が決まるまでは臨時休業となりまして、その間の子供たちの学習あるいは連絡等については、学校にお願いしながら、そして、その状況等もちょうど確認しております。それを踏まえながら、学校の再開がスムーズにできるように、我々も一緒に考えながら、相談してやっております。

以上でございます。

◎佐藤教育長

指導課長。

◎山田指導課長

自分の学校やクラスで陽性者が出た場合に、子供たちが動揺することが、一番やっぱり心配なところですので、例えば、陽性になった子供たちが戻ってきた際に、若しくは陽性者が出てしまったことによって、臨時休業を数日空けた後の学校生活について、市で雇用してありますスクールサポートカウンセラーを派遣して、相談体制ということで、こちらが主導でやっているところです。

以上です。

◎佐藤教育長
高橋委員。

◎高橋委員

ありがとうございました。子供たちにどう接していくのか、例えば、感染されたお子さんたちについての情報が、あらぬ方向に動くということも考えられます。あるいは、そのまま沈静化することも考えられます。誰かが、そういうことの情報の沈静化を図るために、ほかの子供たちに知らせるという方法もあるかと。そのときには、特に小学校の場合は、親の了解ももらっておかないと、きついと思います。だからいろいろな手順があるんですが、そういうものを学校任せにするのか、あるいはこういうふうにした方がいいですよという形で、教育委員会の方で指導されているのか。その辺をちょっと聞きたかった。いろいろなパターンがあると思いますが、パターンに応じてどうするか。

◎佐藤教育長
学校教育部長。

◎船橋学校教育部長

いろいろなパターンがあるということなんですけども、例えば具体例で申しますと、これは個人情報に関わるので、市のホームページあるいは学校ホームページでも、誰がとかどこのクラスとかっていうことは、公表はしておりません。保護者等からの問合せにつきましても、お答えできませんということで対応しております。それでもやはり関係クラスのPCR検査であれば、何となくこのクラスが出てるんだなど分かることもあります。ただ、それについては、発生する以前から、そういうことが起きたとしても、それを差別すること、あるいは区別することはいじめにつながることもあるので、それはやめましょうという指導は、常日頃から学校でも行っておりますし、我々の方からも、校長等に指導しておりますので、それに基づいて、いじめ等があったという報告は今のところありませんので、その点は大丈夫だと思っております。

いずれにしましても、やはり周りの子供たちがそれを、そういうことが起きたから特定しようとか、あるいはそれをもって、その子をいじめの対象にするとか、そこはないようにしてきましたし、学校でも我々の方でも情報を集めながらやっております。先ほど指導課長からお話ししましたが、そういう不安も含めて、スクールサポートカウンセラーを配置しまして、状況を確認しながら、もし何か不安があれば相談してくださいということでこちらにも伝えております。今のところは、それに伴っての相談等、大きいものは特にありません。

以上でございます。

◎佐藤教育長
高橋委員。

◎高橋委員

ありがとうございました。確かに非常に難しいところがありますので、そして、変異株になると子供が感染しやすいという情報も流れてきていますので、ますますそういうケースが多くなると思いますので、まずは保護者の皆さんにも鎮静化が図れるように仕向けていただきながら、子供たちが快適な学校生活を送れるように御配慮いただければというふうに思います。よろしく願いいたします。

以上です。

◎佐藤教育長

ほかにございますか。

永瀬委員。

◎永瀬委員

校長先生や教頭先生の若年化が今後進んでいくであろうと思うんですが、具体的なことは分からないかもしれないんですけど、来年度で校長先生の最年少が 49 歳、教頭先生が 42 歳ということなんですけど、これは多分、若い先生がどんどん入ってきて、それがあってまた、だんだん年齢も高くなっていく時期もあると思うんですが、そこが何年後ぐらいなのかと、そのときには校長先生、教頭先生が大体何歳ぐらいになってしまうのか。予想はできてますでしょうか。

◎佐藤教育長

学校教育部長。

◎船橋学校教育部長

正直なところ、具体的な数字までは予想できておりませんが、教頭選考を受ける条件がありまして、勤務条件 10 年以上となっております。ですので、例えば 22 歳で採用された場合については、どんなに早くても 32 歳以降になると思います。ただ、それによって試験に受かったからすぐ教頭なるかという、やっぱりその人の教員としての実績がどうか、それによって教員の信頼度が変わってきますので、いろんなことを踏まえて教頭職に登用していきますので、具体的には何歳ということは、今のところ言えません。ただ、確実に教頭、校長は今、40 代半ば以降の年代が少ないですので、こういう 40 代前半の教頭、40 代後半の校長というのも、これから増えてくるのが予想されます。

以上でございます。

◎佐藤教育長

ほかにございますか。

伊藤委員。

◎伊藤委員

先ほど理科大とのパートナーシップ事業で、今回コロナの中で、プログラミングの出前授業において、片山先生、若い先生が活躍してくれたというのは、ちょっと拝見してよかった。4 月から G I G A スクールで、いろいろネットワークですとかセキュリティの問題もありますので、私も以前お願いして、話をしておりますが、彼はそういう分野ではプロフェッショナルで、特にセキュリティの問題等は、彼の得意分野だと思いますので、いろいろと困ったことがありましたら、今後ともごひいきにお願いいたします。皆若い先生で立派な経歴の先生です。

◎佐藤教育長

そのほかにございますか。

飯田委員。

◎飯田委員

異動の内示が出て、当然市長部局さんの方でも出てるんだと思うんですが、これに伴って、通常であれば歓送迎会等があると思いますが、教育委員会として何らかの形で、そういったものに関して若干の自粛の要請とか指導とか、そういったものはなされたのか。それともこれからはさる予定があるのか、教えていただけますか。

◎佐藤教育長

生涯学習部長。

◎山下生涯学習部長

自粛につきましては、コロナの対策本部会議からも、職員につきましては、そういったものを自粛するよとということ通達がありました。それについては、まだ解除はされておりませんので、引き続き生きているという形だと思います。ただ、学校に対しては特段、通知は出してない状況なんですけれど、校長会議等で話はさせていただいているんですが、しばらくは自粛というのは続くと思います。先だつての本会議では、今回、緊急事態宣言が解除にはなりましたが、ゴールデンウィークまでは引き続き引き締めろというような通達もありましたので、少なくともゴールデンウィークまでは、そういう歓送迎会等はできないなというのは、我々の考えの中では持っています。

◎佐藤教育長

飯田委員。

◎飯田委員

ありがとうございました。ということは、委員会としては、特別、通知を出しているものではないが、共通認識として、おそらく間違いなく大丈夫だろうということでしょうでしょうか。ありがとうございます。引き続きよろしくお願ひします。

◎佐藤教育長

高橋委員。

◎高橋委員

すいません、全く報告事項とも関係ない話なんです、野田市でも来年度GIGAスクール構想によって、児童生徒1人1台の端末が行き渡るといふ予定になっているわけですが、文科省の方も、来年度、全国的に無償でデジタル教科書を配付するといふ、実証事業を行うといふ発表を目にしました。その内容について、もし分かっていれば教えていただきたいといふことが1点。それから、GIGA構想で1人1台の端末を支給するのはいいんですが、数年たてば、必ず切り換えなくちゃいけないと。GIGA構想までは国の補助があつてこうやってるけど、その後は国がやるんでしょうか。そういう見通しがあるのかないのか。もし市でといふことになると、事前にかなり根回しをしていて、情報を流しておかないと、えらいことになってしまう可能性がある。

それから、2点目です。ある大手の新聞読んでいましたら、デジタル教科書についてのアンケート調査をやつたと。全国の各市町村の教育委員会に、ネットでもってアンケートをとらせていただきましたといふような内容の記事がありました。当然野田市にも来ているんじゃないかと思ふんですが、デジタル教科書の効果については、盛んに学者の先生方が意見を述べられています。賛成意見もあれば反対意見もある。中間の意見もあるようです。野田市の教育委員会としては、これは効果があるのかないのか。その検証にはどのぐらい期間があればいいとお考えなのか。その辺りについて、教えていただけますでしょうか。あわせて、野田市の教育委員会として、そのデジタル教科書について懸念されている点があれば、それも教えてください。必ず数年後には教科書採択の場でも、これが出てくると思ふます。文科省は2024年から実施したいといふことですから、教育委員会として、今の情報の中でどういふふうにお考えになつてるかといふことを教えていただければと思つて質問いたしました。

以上です。

◎佐藤教育長

指導課長。

◎山田指導課長

まず、1点目の実証事業についてになります。こちらは、文科省の方で、全国の市町

村を対象に約半数程度というお話があつて、野田市からも小学校 11 校が、これに立候補して決まったところです。算数で、中央小、東部小、清水台小、みずき小、木間ヶ瀬小。社会で、岩木小、福二小、尾崎小、七光台小、関宿小。理科は川間小学校で、実際に4月1日より実証実験に、授業の方で関わることになります。内容ですが、4月1日以降、教科書会社の方から、実際にそのアカウントを配付してくれることになります。期限は1年間。その1年間の実証実験ということになります。今のところ、授業の中で使って、2学期の終わりとなりますから、年末になると思うんですが、使用した頻度であるとか、使い勝手に関する感想、デジタル教科書のみで授業が可能なのかどうなのか、良かった点はどうか、課題等に関するアンケートを教員、児童生徒それぞれで行うというような検証の内容になっております。1点目は、以上です。

2点目です。GIGAスクールの端末を今入れているわけなんですが、切換えの時期ということで、これについては、正直なところまだ方向性は決まっておられません。国の方で補助してくれることを願っているところですが、現在、国の方はそういうことについては触れておりません。バッテリーについて、今回、野田市の指導課で入れたのは、国産の機器になるんですが、一般的にバッテリー等が5年と言われております。ですので、5年間はおそらく使えるだろうと思っております。今、まだまだ小中学校ではこれからだと思うんですけども、例えば、私立の高等学校などでは、いわゆる教材を買うときに、端末を家庭で買っていて、今まで買っていたような参考書の部類であったり、副教材であったり、そういったものをやめて端末だけというような動きが、私立の方で出てきています。ということは、私立の小中学校でもそういう流れになっていくのかなど。そうすれば、5年でどこまで変わるか分からないんですが、もしかしたら、1人1台を自分で用意して入学して来るということも想定しつつ、国、県、また、他市の状況等も踏まえながら、こういった形が子供にとって一番最適なのか考えて、結論を出していきたいなと考えています。

続いて、3点目のデジタル教科書についてです。今、委員の方から言われたアンケートですが、これには野田市も回答しております。実際のデジタル教科書を使って検証していかなくてはいけないわけなんですけれども、今回、先ほどの国の方の実証事業では、1年間でしかないということ。野田市の回答として、今回は3年間は必要と書かせていただいたんですけども、例えば、今懸念されて社会で言われている健康面については、1年ではおそらく出ないだろうということがあります。また、1年間だと、その年のその子供たちの特性によってもかなり違う面が出てくると思いますので、やはり、次の学年に行って、又は中学校であれば、一回りしてというようなところでないと、実際の検証は厳しいのかなと考えています。国の方が、24年度から全面実施だけれども、デジタルに完全移行ではなくて、紙の教科書と併用を考えているというような話も出ていますので、全部デジタルにしていくのか、紙と紙の教科書と併用なのか、学年によって変えられるのか。あと教科によって、この教科はデジタルがいいのか、この教科は紙の方がいいのかというようなところも含めて考えると、やはり3年間は必要になってくるのかなと感じています。

あと、デジタル教科書によって懸念される部分は、まず一つは、健康面になります。やはり視力の問題であったりとか、姿勢が悪くなるっていうようなことも一部で言われております。そういった面がやっぱり心配なところ。全部デジタルならば、よく重いランドセル云々というような話も小学校の健康面で出てきますけれども、そういったところがクリアになる部分もあると思いますので、一概にどうとは言えませんが、健康

面でちょっと注視しなければいけないかなと思っています。

あとは、懸念している部分として、ネットワーク環境がとても心配なところです。ネットワークを使って教科書にアクセスしていくこととなりますので、例えば、何らかの学校のネットワークがダウンしてしまったときというのは、回復まで教科書が使えないというようなことが出てくると思います。実際に、今までこのGIGAと関係ない校内のネットワークの時には、そういったネットワークが使えないということもありましたので、まだ入ってすぐなので、今後、ネットワークの安定性であるとか、実際に全校の児童生徒が一斉に使ったときのスピードはどうなのかとか、その辺りも考えていかななくてはいけないのかなと思っています。

あと、心配している部分として、今回、有識者又は文科相の方で、しきりにこのデジタル教科書を進めている理由の一つに、個別最適化という部分がかかなり言われているんですけども、個別最適化を意識しすぎると、今までやっていた読み・書き・そろばんも含めて、子供たちの学びがそこでストップしてしまうのではないかと。個人差もどんどん出てきてしまうのかなと。そういったことも少し懸念されます。

あと、やはり紙の教科書の良い所、デジタル教科書の良い所、それぞれあると思いますので、どちらが時間をかけて使った方がいいのか、どっちをどのくらいの割合でというようなところも考えていけたらと考えています。令和元年からデジタル教科書を2分の1を超えない範囲であれば使用することが可能ということで、学校教育法が一部改正になってますので、その2分の1、それも今後2分の1を超えてもいいというような告示がされるようですので、そういった流れも含めて、よく注視しながら、今後検証していきたいなと考えています。

以上です。

◎佐藤教育長

高橋委員。

◎高橋委員

大変ありがとうございました。これから先の検討事項になるんですが、デジタルということで、一長一短あるかと思うんですけども、それらのことについての市内での取組、検証、こういうものをつぶさにまとめ上げて、そして、県の方に報告していくという作業を是非ともやっていただいて、そして、あわせて保護者にも説明していただきたいなど。何らかの形でこういう取組をこういうふうにやりますということを、保護者の方にも丁寧に説明していただいて、環境がバラバラでございますので、特にそういう点を含めて、この保護者への説明ということは、重視していただきたいというふうに思うところでございます。

今後ともいろいろ情報がありましたら教えてください。ありがとうございました。

◎佐藤教育長

指導課長、保護者向けの便りの件を説明してください。

指導課長。

◎山田指導課長

今回このデジタル教科書だけではなくて、大きくGIGAスクール構想によって教育が変わるということで、保護者宛てに教育委員会の指導課が作っているGIGAスクール構想そのものについての説明を1枚のお便りにして、学校のホームページ又は家庭に配布するという今取り組んでいます。まだ号数としては2枚、3枚なんですけれども、こういったデジタル教科書についても、今、高橋委員からありましたとおり、周

知していけたらなというふうに思っております。ありがとうございました。

以上です。

◎佐藤教育長

ほかにございますか。

ないようですので、以上で教育長の報告事項を終了します。

次に、議案第3号を審議したいと思います。

冒頭で確認したとおり、非公開といたします。

(非公開での審議)

◎佐藤教育長

本日の議題は、全て終了しました。

そのほかにも、何かございますか。

生涯学習部長。

◎山下生涯学習部長

委員の皆様にはもう御存じのことと思いますが、佐藤教育長がこの3月31日をもって任期満了で退任されることになったところでございます。

ここで、佐藤教育長から退任の御挨拶を頂戴したいと思いますので、よろしく願いいたします。

◎佐藤教育長

それでは、大変お忙しい中、お時間をいただきましたので、一言御挨拶を申し上げます。

繰り返しになりますが、この度3月31日をもって、任期満了により教育長の職を退任させていただくことになりました。平成30年4月から1期3年にわたりまして、会議の度に、あるいは会議以外でも、温かく御指導、御鞭撻をいただきまして、本当にありがとうございます。

教育長就任の間、何と言っても、虐待死亡事件、それから、小学生の自殺により尊い命がなくなったということに対しまして、本当に断腸の思いです。ただ、そういう中で、委員の皆様にも、やはり教育委員会の体制の改善とか、あるいは信頼回復のために様々な御意見をいただきまして、それを一つ一つ、事務局の皆さんで作りに上げてきたということが本当に言えるんじゃないかなというふうに思います。また、新型コロナウイルス感染に関しましても、事務局の皆さんそして、委員の皆さんがいろいろ考えを述べていただいて、それをやっぱり一つ一つ取り組むことによって、感染拡大の防止に努められたこと、ただ、これはまだ途中です。先ほど話がありましたように、来年1年また掛かるのかなと、そういう道半ばではございますが、これまで同様、力を合わせてやっていただければ有り難いかなというふうに思います。

いずれにしても、野田というところは、やっぱり、子供に力があると思います。それが表に出るかどうかっていうのは別問題として、やっぱり秘めてる力を持っていると思います。また、土曜授業でもそうですが、野田の先生たちだから土曜授業ができたんじゃないかなというふうに思っています。さらに、地域の方々、保護者、非常に熱い思いで学校を支えてくれている。そういった一つ一つが、野田市の教育の宝ではないかなというふうに思います。その宝を大切にしながら、これから始まっていくGIGAスクール構想を、NICTプロジェクトの中でしっかりと進めていただいて、大きな花を咲かせるように期待しております。

結びになりますが、教育委員の皆様には、これからの御健勝を祈念いたしまして、挨拶とさせていただきます。

3年間どうもありがとうございました。

◎山下生涯学習部長

教育委員の皆様より、花束の贈呈がございました。

(代表伊藤委員)

◎佐藤教育長

以上をもちまして、本日の教育委員会定例会を閉会します。

以上会議のてん末を記載し、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

教育長

委 員